

自分らしい生き方 見つけよう

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌 Vol.4 2004 春号

特集 **見る聞く考える** これからのメディア
 ~ジェンダーの視点でメディアを読み解く~



● ジェンダー最前線
 People (株)光子発生技術研究所 山田礼子さんに聞く
 Topics 管理的職業における女性従事者の割合
 ● いま地域では
 ● 幼児向け紙芝居ができました。

ジェンダー4コマ みんなでしましょ!



“G-NETしが”の16年度事業予定

オープンセミナー 平成16年6月26日(土)13:30~
 ●テーマ(仮):『地域の底力』
 ~ともに力を合わせて築く男女共同参画社会~
 ●講師:有馬真喜子さん(財団法人 横浜市女性協会顧問)
 男女共同参画社会を実現するための公開講演会。
 2回目は秋(10月中旬)に予定しています。

ジェンダー学講座
 「自分らしく」生きるため、ジェンダー問題を学び、自らの生き方を考えます。
 [子育て時期][若者][男性][女性のチャレンジ支援]などのコースを予定しています。

ジェンダーゼミナール
 男女共同参画社会の実践的な課題に向け、調査研究をする講座です。

IT講習会
 グループの活動に活かせる情報の発信・収集などの技術を習得するための講習や親子向け講習会を実施します。

WEリーダー養成講座
 地域や職場で男女共同参画を推進するリーダーを養成します。

サテライト・コーディネーター養成セミナー
 情報の収集発信や事業推進のための専門的なリーダーを養成します。

地域エンパワーメントセミナー
 地域で活動する団体やグループ・NPOが企画運営する2回連続の講座です。センターが応援します。

※講座名は変更される可能性があります。

県立男女共同参画センター G-NETしが (託児あり) 3日前までに要予約
 TEL. 0748-37-3751 FAX. 0748-37-5770

G-NET pick up!

しがWO・MANネット登録団体なら無料で利用できる団体交流室。打ち合わせや交流の場として活用できます。

■しがWO・MANネット 男女共同参画社会の実現に向けて活動しているグループが登録。G-NETしがを拠点に交流や学習を通じてエンパワーメントを図ることを目的としています。随時登録可能で、施設利用にあたっての特典や活動支援もあり、気軽にお問い合わせ下さい。

団体交流室



さんがく 井戸端会議

男女共同参画センターやこの冊子のご意見、ご感想などあなたの声をお聞かせください。

● IT講習会に参加して
 私たちは、女性の人權擁護の運動理論をベースに子どもへの暴力防止のプログラムも提供する活動を行っています。
 昨年7月、しがWO・MANネットの登録団体として「男女共同参画に取り組みたい団体向けIT活用スキルアップ講座」に参加し、ホームページ作成を学びました。普段はほとんどパソコンを使わない私が、ホームページ作成なんてできるのかしら!?と思っていました。講師の方が手取り足取り教えてくださり、何とか完成!!
 センターのホームページからもリンクしていただき、ホームページ経由で新メンバーが増えたり、ワークショップの依頼があったりと、その効果にびっくりしています。
 ホームページってどんなつながっているんだなあ...感謝!
 CAPひまわり座 大屋邦代



G-NETしが
 滋賀県男女共同参画情報誌 vol.4 2004 春号
 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが
 〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
 TEL. 0748(37)3751 FAX. 0748(37)5770
 E-mail. g-net@mx.biwa.ne.jp
 ホームページ. <http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/>
【開所時間】 午前9時~午後9時
【休館日】 月曜日・祝休日の翌日・年末年始
 発行日/平成16年3月10日
 編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
 企画・編集/特定非営利活動法人びいめ〜る企画室

「G-NETしが」とは
 滋賀県立男女共同参画センターの愛称で、「Gender-networkしが」の略。ジェンダー問題を見据えて男女共同参画のネットワークを広げていこうという思いをこめたものです。

見る聞く考える これからのメディア

～ジェンダーの視点でメディアを読み解く～

現代社会を生きる私たちは、さまざまなメディアから日々刻々と発信される大量の情報に囲まれて暮らしています。もしその情報が偏った視点で作られたものとしたら、あるいは私たちの人権をおびやかすものとしたら、どうすればいいのでしょうか？

メディアから与えられる情報をそのまま受け入れるのではなく、自分でしっかりと判断する力「メディア・リテラシー」を持つことの必要性が叫ばれています。メディア・リテラシーを身につけ、情報化社会を真の男女共同参画社会づくりに生かすための方法を探ります。

*1 ジェンダー 文化的・社会的に作られた性差



鈴木みどりさん
立命館大学産業社会学部教授。NPO法人「FCT市民のメディア・フォーラム」代表理事。専門はメディア論、メディア・リテラシー研究、ジェンダーとメディア研究。編著書『メディア・リテラシーの現在と未来』『Study Guide メディア・リテラシー- [ジェンダー編]』他多数。

いまなぜ

*2 メディア・リテラシー情報を読み解く力
メディアからの情報を主体的に選択し内容を分析・読解し活用できる能力や、メディアを適切に選択し発信する能力を身につけること。

「メディア・リテラシー」が必要か

メディア社会を自分らしく生きるためには、まずメディアの実態を知ることが大切。メディア・リテラシー研究者の鈴木みどりさんに、「メディアとは何か」「メディアと私たちのつきあい方」について、お話をうかがいました。

メディアは作られる

現代社会では、ほとんどの情報がメディアを通して与えられています。社会の出来事を伝えるだけでなく、ドラマ・バラエティ・広告などによって女性・男性・若者・子ども・家族・流行のライフスタイルなどのイメージを提供し、語りかけてきます。毎日大量に送られてくるため、その存在はまるで空気のように日常生活にとけこみ、私たちの社会観や価値観の形成に深く関わっていると聞いてもいいでしょう。



鈴木さん著書

メディアとジェンダー

メディアには、男女による固定的な性別役割分担が多く描かれています。登場する男女の偏った年齢分布、女性を性的対象として扱う番組、女性のプライバシーを興味本位に取り上げる記事などです。子どもの頃から無意識にそれらを見聞きし続けていたら、それが当たり前と思ってしまう原因は、制作者が持つ「女だから、男だから」というジェンダー観や、制作の方針の立案や決定の場に女性が少ないことなどが挙げられます。「おかしい」と感じることもあっても、これまでの固定的な性別役割分担をそのまま使えば視聴者に受け入れられやすく、視聴率や商品宣伝につながるだろう、という企業や制作者の心理も働いていると思います。「おかしい」と感じたら視聴者が異議をとなえなければ、変化はありません。

メディアを読み解き、積極的に関わろう

あふれる情報に流されないためには、「受け手」から「読み手」となって、ジェンダーの視点でメディアを見る力をつけましょう。おかしいと思ったら、それを制作者に伝えます。ただし批判だけでは進展しませんから、具体的な提案もするなど、メディアと上手にコミュニケーションをとることが大切です。

そして、自分のメディアを作ること。インターネットやテレビデジタル放送など、双方向性の高いメディアも出現しています。私たち自身がメディアに積極的に関わり、また発信側にもなることができる、大きなチャンスが来ているのです。

テレビCMウォッチング

身近なメディアのひとつであるテレビCMに描かれている女性像と男性像を比べてみました。

チェック1 洗剤CMチェック	
対象CM	洗剤CM 12本
主役	女性5本 男性5本 家族1本 子どものみ1本

主役の女性はすべてエスロン姿で「主婦」を連想させる設定であったのに比べ、男性は5本中3本まで職業が設定されていたのが対照的。男性自身が洗濯や掃除をしているCMもありました。



▲トイレ掃除する母親

同じトイレ用洗剤でも、こんなに視点の違いが。



▲トイレ掃除する父親と息子

チェック2 栄養ドリンク剤CMチェック	
対象CM	栄養ドリンク剤 CM6本
主役	男性5本 男性と女性1本

主役の男性は職業がわかる設定で、仕事で疲れているががんばる・上半身裸で走るなど、元気・力強さといったイメージを前面に出しています。女性は、男性の後ろで小さく描かれています。



平成15年12月8日～15日のCMをチェックしました



みんなでCMをチェック

テレビCMチェックシート見本例

商品名	商品種類	企業名	時間帯	秒数
〇〇〇	菓子類	△□社	9:00pm	15秒
CMの内容				
登場人物と その特徴	全体構成	キャッチ・説明・画像・音楽 その他気がついた事	このCMを見て どう思ったか？	
主役：複数の女性	女性たちがくっつきあい、踊ったりしている。	商品名は言っているが、商品説明はほとんど無し。	子どもも好き嗜好品なのに、商品とまったく関係なく女性の性的イメージを前面に出しているのが不快。	

◆**テレビの場合**
左のようなワークシートを作り、二人以上で同じものをチェック。結果をもとに気がついたことを話し合ってみましょう。

方法

◆新聞や雑誌の場合

テーマを決め、複数の掲載紙から関連記事を選び出します。タイトルのつけかた、呼称、内容や写真の扱い方などで男女に違いがないかなどをチェック、もし違いがあれば、なぜそうなるのか考えてみましょう。

メディアを チェックしてみよう



ジェンダーの視点でメディアをチェックしてみよう。今まで見過ごしてきたことで、何かおかしいと感じることがあればその原因を考えてみます。

メディアの現場から

メディアを知るためには、メディアを作っている人たちを知ることも重要なポイントです。マスメディアで情報発信をしている人たちの思いや考えを聞いてみました。

BBCびわ湖放送情報技術局長

太田 剛さん

メディアとジェンダーの問題のひとつに「メディアで働く女性が少ない」「意思決定部門に女性がいない」ということがあげられています。確かにびわ湖放送でも、現在取締役クラスは男性ばかりです。これは今後の課題と言えるでしょう。ただ、現場レベルで言えば、女性がかかり増えてきたのも事実です。以前は体力的に厳しいと思われていたカメラマンにも女性が着実に多くなっています。また報道に関しては、「女流」「固有名詞以外には使わない」「女史」「○○さん」「女だてら」「女の戦い」「女傑」などは使わない」「同一場面では男女の敬称をそろえる」といった、業界全体の統一した方向も出ています。言葉の表面的なことだけではなく、なぜ使ってはいけないのかまで考えることが重要ではないでしょうか。



BBCびわ湖放送情報技術局 報道制作部記者

山田 真純さん



テレビ局への就職志望の動機は「テレビが好き」という単純なものでした。誰でも簡単に情報を得られるメディアとして、伝えられるものも多いのではないかと思ったのです。入社してすぐ報道に配属されて3年になりますが、その間に女性の記者もかなり増えました。記者の仕事は発見の連続です。人との出会いの中で、自分自身様々な意味で成長できたと思えています。仕事をはじめたころに比べると、ジェンダーに対する意識も高くなりました。それを今後の仕事にも活かしていきたいと思っています。

ステップ 2

メディアとコミュニケーション

メディアを変えていくためには、私たちの声を届けることも必要です。放送局は番組審議会を設けることが法律で定められており、視聴者からの声も参考にされています。

方法

放送または掲載の日時と内容に、氏名・連絡先を添えて伝えます。論理的に説明し、批判だけでなく良いと思ったことや提案も伝えるのがコツ。メディアという協力関係を築きましょう！

- 各放送局または新聞社の視聴者・読者係
- 放送番組による人権侵害や、青少年に対する放送のあり方についての意見
- BPO 放送倫理・番組向上機構
- TEL 03-5212-7333
- FAX 03-5212-7330
- http://www.bpo.or.jp/
- 広告についての意見
- JARO 社団法人日本広告審査機構(大阪)
- TEL 06-6344-5581
- TEL 06-6344-5581
- FAX 06-6344-55916
- (電子メール不可)

ステップ 3

メディアを作ってみよう

マスメディアだけが情報発信の手段ではありません。企画力や表現力をみがき、自ら情報発信してみましょう。あなたのメディアが投じた一石が世界中に輪を広げるかもしれません。

方法

G-NETしがの公開生放送風景。



8月22日G-NETしがで開催された「若者ジェンダーフェスタ」では河口恭吾さんをゲストに。



中野 栄美子さん

「生まれも育ちも滋賀」ということもあり、エフエム滋賀の開局以来7年間パーソナリティをつとめています。ラジオというのは、聴取者参加型の番組が多い、双方向性の高いメディアなので、聞いている方の状況や想いを肌で感じることもできます。以前は、昼間、ラジオを聞く人は「女性主婦」「男性ドライバーや営業マン」というイメージがありました。最近では「トラック運転手の女性や子育て中の男性」など様々な方が番組にメッセージを寄せてくださいます。携帯メールの普及で番組に参加してくれる層が広がったこともあるでしょうが、ライフスタイルの多様化がすすんで進んで来ているのだと感じます。情報発信する私も、それをきちんと受け止めてコミュニケーションを深めていけるよう、努力しています。

エフエム滋賀E・Radioパーソナリティ

啓発紙をつくってみました。

～サテライト・コーディネーター養成セミナーを受講して～
 甲賀町男女共同参画社会を考える会

武田 旦さん

定年退職後、地域で何か役に立てればといろいろ学んでいた時、男女共同参画社会づくりやこのセミナーについて知り、受講しました。お話を聞くだけでなく実際にグループで啓発紙を作る演習はとてもわかりやすく、地元で発行している広報紙づくりに役立っています。自分が新聞や書籍を見る眼も、以前より鋭くなったように感じています。法律上は男女平等ですが、実際には、実現されていない部分も多いと思うので、わたしたち高齢者こそ率先して取り組みたいですね。そのためにも、もっと男性の仲間を増やしたいと考えているところです。



サテライト・コーディネーター養成セミナー
 情報の発信・収集や取り組みを推進できるリーダー育成をめざし、G-NETしがで開催。修了生は、センターと自分たちの地域や企業、団体との架け橋として、連携や協働に取り組む。
 ※2004年度も開講予定

◆ミニコミ紙を作る
 自分の思いを文章にして、たくさんの人に読んでもらいたいです。写真・イラスト・データを用いてレイアウトにもひと工夫。

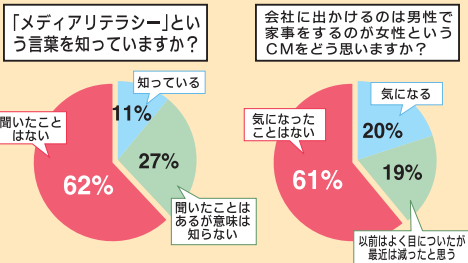
◆インターネットでホームページを作る
 瞬時に世界とつながるのがインターネットの魅力。基本マナーを守ってネットワークをひろげましょう。



ホームページをグループで作成中
 G-NETしがで開催されたIT活用スキルアップ講座。

100人に聞きました ジェンダーとメディア・リテラシーについて

メディアに描かれる女性像・男性像について、TVコマーシャルを中心に調査しました。



「メディア・リテラシー」という言葉については「聞いたことはない」が62%で、「男性は仕事、女性は家庭」というCMを「気になったことはない」と答えた人の割合は61%となっています。毎日繰り返し流される情報がいつのまにか意識の中に入りこみ、おかしいということに気がつかない状況を作り出しているとも考えられ、メディアリテラシーを身につけることが望まれます。

- 調査対象：県内在住の20代～50代男女100名
- 調査時期：平成15年12月
- 調査機関：特定非営利活動法人びわ湖～企画室

毎日何気なく接しているメディア。繰り返し流される情報は、いつのまにか私たちの意識の中に入りこみ、ものの見方や考え方に影響をおよぼしています。

一方的に与えられた情報を無防備に受け取るのではなく、自分で判断すること、そして自らメディアに積極的にかかわってメディアを変えていくことが、情報化社会を生きる私たちに、いま強く求められているのではないのでしょうか。



幼児向け紙芝居ができました。

滋賀県では男女共同参画社会づくりに向けて、子どもたちの個性的で伸びやかな成長に役立つ幼児向け紙芝居の原作を募集しましたところ、全国から24点の応募がありました。審査の結果、優秀作1点、佳作2点が選ばれました。

なお、優秀賞受賞作品は、印刷して滋賀県内の幼稚園や保育園等に配付します。

募集期間：平成15年6月17日～9月30日

審査委員：

- 審査委員長 永田 萌 (イラストレーター、絵本作家)
- 今関信子 (児童文学作家)
- 松本立子 (滋賀県保育指導員)
- 田中敏孝 (高月町立高月幼稚園長)
- 安藤よし子 (滋賀県副知事)

入賞作品：優秀賞「そらがキラキラ」

牛原京子さん (甲賀郡甲西町)

佳作2点

- 「あおいろはだれのいろ？」
こいけいこさん (大阪市)
- 「お母さんのかんちがい」
川嶋富美子さん (近江八幡市)



審査委員長
永田 萌さん

作品に込めたメッセージ

我が子だけでなく、まわりの子どもの育成も見守る地域の人々のような設定で、「木」を持ってきました。一人ひとりがそれぞれ違っていいこと、また一人では生きていけないこと、独りぼっちではないこと、自分らしく何をしたいかなどを、私なりに幼児にわかるように紙芝居にしてみました。

(作者 牛原京子さん)



審査委員長 講評

「そらがキラキラ」は、自然を舞台にした、生命の誕生や成長の過程にきめ細やかな目を向けてリズムのいい文がつづられ、それを受けて明るくダイナミックな画面が展開します。子どもたちの心を引きつける魅力がいっぱいつまっています。特にラストのいろいろな色の羽を持つ蝶たちが個性の大切さをよく伝えてくれますね。

滋賀県男女共同参画課 TEL 077-528-3071 FAX 077-528-4807

People (株)光子発生技術研究所 代表取締役社長 山田 礼子さんに聞く

■会社の概要を教えてください。

その名のとおりに「光子=光」を発生させる装置を製造・販売する会社です。我が社の「みらくる-6X」は、世界最小の高輝度X線発生装置として、医療や半導体の分野などで世界的な注目を集めています。

■会社設立のきっかけは？

「みらくる-6X」を開発した立命館大学教授の山田廣成は私の夫です。「この世界初の技術を自分たちの手で社会に送り出したい」と、当時はまだ珍しかった大学発ベンチャーとして会社を興すことになりました。発起人会での話し合いの末、夫がより研究に専念できるようにと、私が社長に就任することになりました。

■社長業で苦労された点は？

経営者としては全くの素人でわからないことばかりでしたが、勉強しながら、人に尋ねながら、一つひとつハードルを乗り越えてきました。「女性」ということで理不尽な扱いを受けることもありましたが、誠意を持ってお話すればわかって下さることも多かったです。様々な苦労はありましたが、それらは全て「今」につながる必要なものであったと思います。

■これまでも様々な仕事をされてきたそうですが、

大学卒業後は小学校教諭。夫の研究のため各国を転々とした際も、日本語補修校教諭などの仕事を続けてきました。滋賀に来た1995年から4年間G-NETしがに勤務し、10周年記念誌の編集や通信の発行、図書資料室の新聞クリッピングなどに取り組みながら、社会学や女性学を学びました。この間に学んだことやネットワークは、現在も大きな財産となっています。

■夫や家族の協力は？

子どもたちは小学生の頃から家事を分担してきました。夫は元々協力的でしたが、休日出勤が原則のG-NETしが勤務時代には、土日はずっと炊事を担当したため、腕に磨きがかかったようです(笑)。現在は社会人になった子どもと夫、私が当番制で食事を作っています。



■プロフィール

静岡県出身。小学校教諭、東京学芸大学帰国子女教育センター研究補佐、G-NETしが勤務等を経て1997年10月現社を設立、代表取締役社長就任。

■女性が働きやすい環境作りにも取り組まれているとか。

平成15年度滋賀県経済振興特区制度調査委員会委員をした時「経済分野では女性はまだまだ力不足」という認識を強くしました。滋賀の女性ももっと経済活動で力を発揮するべきです。そのバックアップ体制を作るために、行政や女性企業家に働きかけ可能性を探っているところです。産官学連携による全く新しい支援システムを作っていけたらと思っています。

*3 滋賀県経済振興特区制度

「滋賀県産業振興新指針」の推進に向けた重要なプロジェクトのひとつ。地域の特性に応じた経済振興特別区域を設定し、地域経済を先導していく産業の創出・振興に向けて、市町村、事業者、地域住民が協働して実施する自発的な産業振興策に対して「選択と集中」による幅広い経済振興の特別措置を講じ、地域経済の活性化を図っていく滋賀県独自の新しい制度。

図書資料室から

メディアやメディア・リテラシーの本

メディアのなかで繰り返し流される情報の中には、知らず知らず私たちの心に「男は～するべき」「女は～してはいけない」などの固定観念を形作ってしまうものもあります。

図書・資料室では、今までとは全く別の角度からメディアを読み解くための各種著書や資料を取りそろえています。その新鮮な視点で、メディアのあちこちをつぶさに観察してみましょう。目からウロコの驚きが体験できるかも。「何

かおかしい」と発見したら、あなたもりっぱなメディア・ウォッチャー。

広報担当者の方には「ジェンダーの視点からの広報の手引き」「男女共同参画の視点でのイラスト集」などもありますので、ぜひご利用下さい。その他「こどもとメディア」の本、メディア・リテラシーの本もあります。



- 利用時間：9:00～17:00(木曜～20:30) ●貸し出し：1人5冊まで、3週間借りられます。
- 休室日：月曜日・祝休日の翌日・年末年始・図書整理日

男女共同参画 相談室より

相談開設一覽

相談専用電話 0748-37-8739

●総合相談(電話・面接)

火・水・金・土・日曜 9:00～17:00
木曜 9:00～12:00 17:00～21:00
(受付 ～20:30)

●専門相談(面接、要予約)

家族問題カウンセリング 第1土曜 13:00～17:00
男女共同参画法律相談 第2金曜 13:00～17:00
こころとからだの相談 第2木曜 13:00～17:00
DV相談 第3金曜 13:00～17:00

その他、出張相談も実施しています。詳しくは、センターへお問い合わせください。

2月のある寒い朝…やっとな歩き着いた駅で、何とか座りたいと早めにホームに立ち、背を丸め両の手で耳を覆い、これでもかという雪まじりの風にさらされながら、心の中に怒りを抱え電車を待っている時、何処からか「大丈夫ですよ・もうすぐ電車が来ますからね。」という声が聞こえてきたのです。声のするほうに顔を向けると、小学校5、6年くらいの子がそこにいました。言葉とは不思議な力を持っています。私の心は一瞬にして春の光に包まれました。

あれから何年も経ちましたが、私はあの少年のように人の心に届く言葉を、相談に来られた方々に届けられているのかと、日々自問自答しています。

届いていますでしょうか？…

「大丈夫ですよ、今のあなたに必要なものは全てあなたの周りにあります。」

一緒に考えて行きましょうね。」



いま地域では

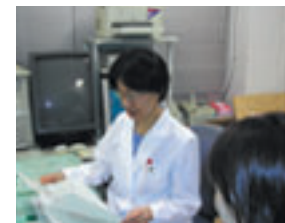
近江八幡市 女性医師による女性専門相談窓口開設 「近江八幡市民病院」

近年、男性医師には話しにくく、また理解されにくい女性の体の不調や悩みを相談できる窓口として、主に女性医師が診療にあたる「女性外来」開設の動きが全国的に広がっています。

2002年9月には、県内の公立病院としては初めて近江八幡市民病院に「女性専門外来」が開設されました。「女性総合外来」「更年期・思春期外来」の2つが設置され、特に「女性総合外来」は、じっくり時間をかけて心身の悩みを相談できる新しい形の診療となっています。「1人30分ですが、お話を聞いていると足りないくらいです。改めて性差を考慮した医療に対するニーズが高いことに気づかされました。また、じっくりと総合的に助言できるという点で、一般外来でもこのような形の診療ができればいいですね。」と担当の須貝順子医師。

一般外来と重ならない診療時間の設定、BGMを流す等、細やかな配慮もされています。性差に応じた医療、患者が納得し、満足できる医療への取り組みが今、はじまっています。

近江八幡市民病院「女性専門外来」
TEL 0748-33-3197 ※完全予約制。
予約は月～金14:00～17:00に電話で受付。

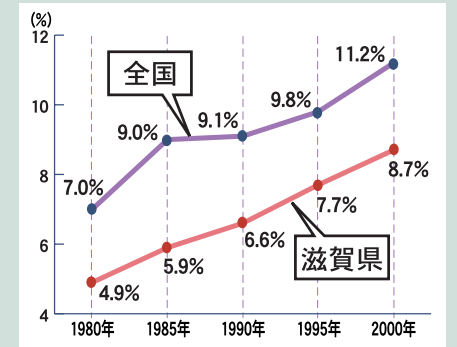


女性総合外来担当、麻酔科・須貝順子医師

Topics 管理的職業における女性従事者

男女共同参画社会を実現していくためには、これまでの男性中心の社会慣習を見直し、地域や職場などでの政策や方針決定の場へ女性が参画していくことが望まれます。

■管理的職業における女性従事者の割合



1980年には4.9%だったものが2000年には8.7%と着実に増えてきていますが、全国平均と比べるとまだまだ低いのがわかります。

国勢調査(総務省)「管理的職業に従事する者の割合」